

「全鍍連」 2019年 10月号 巻頭言

全鍍連 副会長 池田 伸一（三和鍍金工業(株) 代表取締役）

「東京五輪の金メダル、大阪で金めっき」



全鍍連の経営委員会担当副会長の池田です。

2020年 東京五輪の開会式まであと10か月となりました。開催都市がメダルのデザインを決められる裏面は立体的な渦状になっており、美しい光の反射が特徴。

「光と輝き」「アスリートのエネルギー」「多様性と調和」の三つの思いを込めたという。

大阪市出身の川西さんの作品。表面は国際オリンピック委員会(IOC)の規定で、ギリシャのパナシナイコ競技場に立つ勝利の女神ニケ像が描かれている。メダルの重さは金が556グラム、銀が550グラム、いずれも夏季大会で最も重い。銅は450グラム。直径は85ミリで厚みは12.1～7.7mm。素材は金と銀は純銀製、銅は丹銅製で、金は6グラム以上の金めっきが施されている。大阪市、桜宮の造幣局本局内で作り、金めっきも造幣局内でめっき作業が行われ、全て使用済みの携帯電話などから取り出した金属で作らしいです。パラリンピックのメダルと合わせて計5千個を造幣局で作り、来年5月に全て出来上がる予定です。

経営委員会主催の「先輩経営者との意見交換会」は、めっき業界における先輩経営者を講師としてお迎えし、次世代のめっき業界を担う若手経営者に対し、ご講演頂き、講演後ダイレクトに意見交換を行う企画です。

昨年は愛知県名古屋市の太陽電化工業株式会社社長伊藤豪さん(全鍍連顧問理事、愛知県鍍金工業組合前理事長)の会社を訪問し約1時間にわたりご講演をいただいた後、参加者との活発な意見交換が行われました。

トヨタのお膝元ならではのエピソードを始め、地域でのCSR活動など、多岐にわたり講演いただきました。また工場見学では生産管理、システムを始め全自動の機械がどのようにになっているかなど余すことなくご説明頂きました。工場内で働く従業員の方はどなたもいきいきしていたのも非常に印象的でした。

今年は9月26日に埼玉組合の吉野寛治さん(吉野電化工業(株)代表取締役)を講師としてお迎えしご講演頂き、吉野電化工業(株)にて開催されました。経営委員会主催のもう一つ

「女性経営者部会」6月7日に令和元年度の総会が開催されて全国より女性部会員の方々が出席されて総会では役員改選が行われ、部会長の堀内麻祐子さんをはじめ、全員が留任されました。

記念講演では、大阪の東海バネ工業株式会社顧問、渡辺良機様に人と人との関係を大切にしつつ、経験を積んだ職人を評価し、一方ではデータベース作成や納期の期限など、コンピュータによる合理性も取り入れる、まさにこれからの

時代に必要不可欠なことを丁寧に、沢山のエピソードを交えてお話頂きました。女性経営者部会研修会では 9 月 20 日に東北、北海道表面処理工業組合のスズキハイテック(株)様とジャスト(株)様の工場見学をさせて頂きました。各組合で女性経営者がいらっしゃる場合、是非部会に加入して頂くよう宜しくお願いします。